

# 令和4年度施政方針

の人材不足が課題となっている本市において、専門人材の育成が見込まれ、またスクーリングを目的とした来島者による新たな人の流れも期待されることとあり、開校は、令和5年度の予定となっており、本市とい

たしましても、開校に向け支援してまいります。

令和3年度は、本市の子ども達や本市出身のアスリートが活躍した一年でもありました。八重山高校ソフトテニス部女子の県大会連覇や同校郷土芸能部、大浜中学校郷土芸能部の全国大会出場など、文武にわたる子ども達の活躍が多数あった他、東京オリンピックに本市出身の自転車ロードの新城幸也選手や野球の平良海馬投手が出場しました。平良海馬投手にあつては、プロ野球オールスターゲームへの初選出をはじめ、開幕からの連続試合無失点記録及びワンシーズンの連続無失点記録のプロ野球新記録の樹立、更には東京オリンピックでの本市出身者として初の金メダルの獲得など、市民はもとより全国各地の郷友に夢と希望を与える歴史的な快挙を達成いたしました。平良海馬投手には、これらの活躍と功績を称え、令和4年1月に本市の市民栄誉章を授与いたしました。新城幸也選手、平良海馬投手兩名の今後の更なる活躍を期待したいと思います。

そして、令和3年度は、市役所庁舎の移転の年でもありました。51年間にわたり本市を支えてきた旧庁舎への感謝の意を込めた閉庁セレモニーを行い、令和3年11月15日より新庁舎での業務がスタートいたしました。「みんなが集う石垣市のランドマーク」をコンセプトとした、伝統的でありながらも独創的で、市民が誇りを持てる庁舎として、また災害時には、市民の安心・安全を確保する地域防災拠点としての機能も有した庁舎となっております。新庁舎の開庁を契機に、これまで以上に職員一丸となって効率的な市政運営を図るとともに、より一層きめ細やかな市民サービス、窓口対応に努め、末永く親しまれる市役所を目指してま

まいります。

## 1. 地域の魅力と活気があふれるまち

本市においても、新型コロナウイルスにより経済は大きな痛手を負っていることから、その回復を真つ先に行なわなければなりません。そのため各種産業をしつかりと振興し、都市機能の強化を図るなどして、活気を取り戻してまいります。

第一次産業につきましては、さとうきびやパイナップルなどの生産農家において、従事者の高齢化や若者の就農離れなどにより、人手不足が課題となっております。このことから、本市では、高性能機械の導入や令和4年1月に民間事業者と締結した協定を活用することにより、生産農家の労働力軽減や人手不足の支援、更には未収穫作物の削減によるフードロスの抑制を通し、SDGsにも貢献してまいります。

さとうきびの生産振興につきましては、老朽化した製糖工場の早期建て替えに向け、関係機関とともに財政支援等について、国・県などへ働きかけてまいります。

農業基盤整備につきましては、国営かんがい排水事業石垣島地区の関連事業として、伊野田南地区他5地区において農地・農業水利施設の整備を進めているところであり、令和4年度には、新たに事業採択された仲田地区と宮良地区の測量および実施設計に取り組んでまいります。これらの事業により、優良農地の確保及び農業用水の安定供給が図られ、農業の生産性の向上及び農業経営の安定が期待できます。

これらの取組の一方で、イノシシなどによる収穫前のさとうきびや甘しよ等の被害が多数報告され、農業生産への打撃が深刻化しております。本市は、これまで石垣市鳥獣被害対策実施隊への駆除依頼をはじめ、ICTを用いて遠隔操作ができる「困いわな」の活用や、侵入防止柵の設置など様々な対策を講じてまいり

ましたが、鳥獣被害対策実施隊員の育成が課題となっております。このことから、令和4年度は、有害鳥獣被害対策実施隊員となり得る狩猟者の育成と技能向上を目的とした狩猟研修センターの設置に向け、狩猟研修センター建設推進協議会を立ち上げてまいります。また、伊原間地域の野生化牛につきましても、対策協議会を中心に、全頭駆除に向けて取り組んでまいります。

農業振興地域整備計画につきましては、令和3年度は総合見直しや、地域未来投資促進法を活用した地域経済牽引事業の用に供する農用地にかかる除外手続きに取り組んでまいりました。令和4年度においては、概ね5年に1度の基礎調査を実施するとともに、引き続き当該計画の見直しに取り組んでまいります。

畜産振興につきましては、令和3年度には、県内外から優良母牛を90頭導入し、石垣産の牛の生産基盤の拡充・強化を図ってまいりました。令和4年度は、優良雌牛85頭を導入するとともに、市内高齢母牛群の更新を促進するため、高齢母牛を淘汰した農家へ、と畜料補助を行ってまいります。また、農家の草地整備や牛舎等を一体的に整備するため、平久保や伊原間、梶海大田などにおいて、畜産担い手育成総合整備事業石垣北部地区に着手してまいります。

肥育牛経営の安定化への取組といたしましては、食用に供される地元産肥育牛の確保及び肥育一貫経営農家の経営安定を図るため、濃厚飼料費の補助などを実施してまいります。また、養豚の生産につきましても、農家の経営安定を目的に、と畜料の補助を実施してまいります。

八重山食肉センターにつきましては、令和3年度にHACCP（ハサップ）認証を取得いたしました。このことから、農業者と商工業者による産業間連携や商品開発などを支援し、令和4年度に石垣産牛肉を石垣島から直接、海外へ出荷出来るよう、販路の拡大に取り組んでまいります。